

世田谷

# ファミサポ通信



世田谷区社協キャラクター  
ココロ

## 世田谷区ファミリーサポートセンター

開所時間：午前8時30分～午後5時15分（土日祝日、年末年始を除く）

〒157-0066 世田谷区成城6-3-10 4階

電話：03-5429-1200 FAX：03-5429-1202

ホームページ：<https://www.setagayashakyo.or.jp/service/kosodate/>

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、世田谷区から世田谷区社会福祉協議会が受託運営しています。

第25号

令和7年3月

## 「春の打ち合わせ」について

継続して利用や活動をする場合は、毎年3～4月に事前打ち合わせのときと同じように利用会員が「打ち合わせ表」を作成し、援助会員と最新の状況を共有してください。

### ● 「打ち合わせ表」作成のポイント ●



- 表の右上に「打ち合わせ日」を記入しましたか？
  - 子どものアレルギーやかかりやすい病気、障害は書きましたか？
  - 通園・通学先が変わっていませんか？
  - 保護者の通勤先やその他の連絡先は変わっていませんか？
  - 有効期限の過ぎた打ち合わせ表は返却か、破棄か選択しましたか？
- （打ち合わせ表の有効期限は、打ち合わせ日の翌年の3月31日です）

「会員のしおり」  
P.7もチェック！

- 「打ち合わせ表」は社会福祉協議会ホームページからダウンロードできます。または「会員のしおり」P.27をコピーしてお使いください。
- 内容を共有したら、利用会員は打ち合わせ表をコピーして同じものを保管してください。スマートフォン等のカメラ機能による撮影で代用してもかまいません。

いっつき  
● 「一時集合所」を確認するには、次のページをご覧ください。



こちらも  
忘れずに！

## 令和6年3月31日までに会員登録をした方へ 更新手続きはお済みですか？

会員登録（期限）は「毎年度末（3月末）まで」と会則第12条で定められており、4月以降も継続して登録を希望する場合は、所定の手続き（更新手続き）が毎年必要です。（令和6年4月1日以降に登録した方、年度内に再登録した方は手続き不要です。）

対象者には令和7年度の登録継続の手続きに必要な書類を郵送しています。（援助会員:12月、利用会員:2月）手続きがない場合、年度末で「退会」となります。

退会のまま、利用や活動をする、ファミサポ事業として認められず、万一の事故の際には保険の対象外となります。相手の会員へご迷惑をおかけすることもありますので、利用中・活動中の方は特にご注意ください。

まだ手続きしていない方は、**至急、手続きをしてください。**

お手元に書類が見当たらない方は、**すぐに、センターにご連絡ください。**



## 「ヒヤリ・ハット」事例から学ぶ、**止まって!** 安心安全な活動!

今年度も、援助活動報告書裏面やフォローアップ専門研修で「ヒヤリ・ハット」事例が多数報告されています。その中で、多く見られる事例を取り上げてみました。



事例1

- 送迎中、友だちや母親を見つけ、つないだ手を振り払って突然走り出した。
- 手をつなぎたがらず走り出した。(同様事例多数)



対応

子どもが走り出したら、「危ない!」×ではなく、「**止まって!**」◎と、とってほしい行動を言うようにしましょう。歩行中は手をつなぐことが安全につながります。

もし、手をつなぐことを嫌がったら・・・

- ①「ロボット合体! ガチャン!」と言いながら手をつなぐ。
- ②「今日は〇〇ちゃんが先生ね! 私をお家まで連れて行って!」と先生に見立てて、誘導してもらう。
- ③♪手をつなご〜♪と歌を歌いながら手をつなぐ。または、しりとりや言葉集め(「あ」がつく言葉等)をしながら歩く。



利用会員さんへ

日頃から親子で手をつなぐ機会を増やすことをお勧めします



事例2

- おやつチョコレート菓子をたて続けに口に入れ、苦しそうにしていた。
- おもちゃのままごと用フルーツが、うつ伏せの状態でも口に挟まっていた。



対応

- ①ただちに、**背部叩打法**を行い、呼吸を確認します。

場合によっては、命に係わる状況になることも意識しながら対応しましょう。

- ②食事を見守る際は一口ずつ、しっかり飲み込んだことを確認してから次の一口を入れるよう促しましょう。ミニトマト・巨峰等は半分にカット、柔らかいパンなどものに詰まりやすいので十分確認しながら見守りましょう。
- ③おもちゃもペットボトルキャップより小さいものは誤飲につながります。周りに危険なものがないかを確認し、遊んでいる状況をよく見守り、事故を防ぎましょう。



乳児：背部叩打法



幼児：背部叩打法



幼児：腹部突き上げ法

こちらも  
チェック!



こどもの事故防止  
ハンドブック

## 災害時の避難について

活動中の災害を意識して、会員同士の打ち合わせでは必ず近隣の**いつとぎ**一時集合所を確認しましょう。

**いつとぎ**一時集合所とは…危険回避のために一時的に様子を見る、または、避難のために一時的に集合するところで、区内に約516か所(令和6年9月現在)指定されています。

「会員のしおり」P.28に一時集合所一覧の二次元コードが記載されていますが、区のホームページリニューアルに伴い、一部ページのURLが変更となっています。一時集合所一覧をスマートフォン等で確認する際は、右記の二次元コードから読み込んでください。



# 令和6年度ファミサポ事業報告

## ●フォローアップ専門研修 (救命講習と事故防止)



4回開催 計55名参加

乳幼児に特化した緊急救命講習の専門講師による指導で、人形を使いながら心肺蘇生や異物除去の実技を体験。

ヒヤリハット講義では、子育て支援専門員から事例に基づく事故予防のポイントなどを学び、隣席同士のワークで新たな気づきの機会となりました。

## ●預けてみよう体験(新規事業)

5回開催(各地域1回) 計59名(内 援助会員25名)



ご親族以外にお子さんを預けたことがない方を対象に、援助会員がお子さんを1時間ほどお預かりする「預けてみよう体験」を開催しました。

初めてのお預け体験に、ママたちもきっとドキドキしたはず。預ける前の打ち合わせ後は、カフェや公園、美容院など思い思いの場所で「ひとり時間」を満喫されたよう。ファミサポ事業を知っていただく機会にもなりました。

また、登録後活動経験の少ない援助会員にも関わっていただくことで、ベテラン援助会員との会員同士の情報交換の場ともなりました。



## ●援助会員交流会

2回開催 26名参加

「私の『押し絵本』はこれ!」をテーマに、参加者同士でお気に入りの絵本を紹介。後半のトークタイムも話がはずみました。



## ●利用会員交流会

1回開催 3名参加

今年度は「腸活のお話」と「折り紙を折りながら楽しく交流タイム♪」の2部構成で行いました。参加者からは保育付き企画のため集中して話を聞けたとの感想をいただきました。交流タイムは話がはずみ、和やかな時間となりました。



## ●子育て援助活動入門講座 「リフレッシュ!笑顔になれる魔法のストレッチ」

2回開催 計29名参加

日本体操研究所の木下祐一氏をお迎えし、座ってできる簡単なストレッチを体験。参加者のうち16名の方が「援助会員に登録し活動してみたいと思う」とアンケートで回答するなど、講座を通してファミサポの活動を知っていただくよい機会となりました。



## ●子育て支援者養成研修

会場開催4回・オンライン開催2回 116名参加

援助会員として登録するための必須研修「子育て支援者養成研修」を計6回開催。安全な活動のために必要な知識を計25時間、学んでいただきました。会場開催では1回の研修で6日間受講する必要があるため、最終日までに受講生同士の交流も進んだようです。

その他、「フォローアップ研修」(災害時対応)、区内の子育て支援関係者も対象とした「子育て支援講座」(子どもの発達障害)を開催しました。

5歳、3歳、1歳と、3人のお子さんがいる佐久間さん。  
ファミサポには令和4年5月に登録しました。  
現在は蓮華ちゃん(1歳)を児童館で週に2回、成田さんに預かっていただいています。  
今日はママがお兄ちゃん(大雅くん・3歳)と一緒に迎えにきました。

## ファミサポ 利用中!!



利用会員 **佐久間 三世子**さん  
蓮華ちゃん(1歳)

利用会員に登録したきっかけをお聞かせください。

2人目を出産した際に、0歳児の一時保育の予約がなかなか取れなかったのと、コロナ禍もあり預け先のことで悩んでいました。そんなとき児童館の職員さんがファミリーサポートの存在を教えてくださいましたのが登録のきっかけでした。

利用してみた感想をお聞かせください。

私の場合は、ご近所に住んでいる信頼できる先輩ママさんに子育てを手伝っていただいている感じです。いつも行く児童館で見ていただくこともあり、児童館の職員さんから子どもの様子を伺うこともあり、とてもうれしく感じます。



これから利用したいと考えている方に伝えたいこと。

ファミリーサポートの援助会員さんは地域に根付いておられる方が多く、周りからの信頼がとても篤いと思います。一緒に子育てをしていく心強い味方が増えると思い、ぜひ安心して利用することをお勧めします。

## 会員さんにインタビュー

## ファミサポ活動中!!

援助会員 **成田 薫**さん

援助会員さんに登録したきっかけを教えてください。

区の広報板のポスターを見て、一緒に子育てしていたママ友に誘われて。



活動するにあたり、一番大切にしていること、嬉しかったことをお聞かせください。

怪我をさせないでお返すこと。1、2歳の子が多いのでとにかくあらゆる怪我を想定しながら活動しています。嬉しかったことは、お母さんと離れるとき泣いていた子が信頼して笑顔を見せてくれるようになったこと。

利用会員さんに伝えたいメッセージをお聞かせください。

初めて預けるときは不安だと思いますが、泣いている子も大抵すぐに泣き止んで気分を変えられる柔軟性を持っています。預けている間はぜひ親御さんも心配なさらず気分転換してください。

これから援助会員として活動を考えている方に伝えたいこと。

私はいまだに毎回どきどきしながら事前打ち合わせを迎えますが、お会いすると不安がなくなります。ぜひ「最初の一步」を踏み出してください。



会員数	
利用会員	4,186名
援助会員	815名

(令和6年9月現在)